



社協は、地域福祉
（助け合いの地域づくり）に
取り組む団体です！



ピオーラちゃん

福祉連絡会を開催しています

皆さん、地域の福祉委員をご存知ですか？
本会では、地域での身近な福祉課題（困りごと）に気づき、民生委員・主任児童委員や本会などにつないでいただく地域のアンテナ役として約800人の市民の皆さまに福祉委員を委嘱しています。
また、福祉委員の役割の周知と民生委員・主任児童委員との情報交換の場として、福祉連絡会を各地区で行っています。

哲西地区では、6月12日にきらめき広場・哲西で福祉連絡会を開催し、福祉委員と民生委員、地域運営組織関係者、本会職員など約50人の参加がありました。

加速する少子高齢化やコロナ禍などにより地域のつながりの希薄化は進行しており、孤独・孤立を防止するためにも、身近な福祉委員の活動はますます重要になります。

本会では、福祉連絡会などを通じて、見守り、支え合える地域づくりを進めてまいります。

発行 社会福祉法人 新見市社会福祉協議会

〒718-0016 新見市金谷640番地の1 TEL(0867)72-7306 FAX(0867)71-2088
E-mail : syakyo-honsho-1@ex.city.niimi.okayama.jp URL : <https://niimi-shakyo.jp/>



▲敬老会助成金の交付（刑部地区敬老会）



▲地区社協への助成金交付
（足立地域振興会の足立ふれあいデー）

6年度 会員加入のお願い



の福祉を支えています

の企業・団体などに対して、社協会員へ

の貴重な財源になるとともに、社協会員福祉活動に参加されることにもなります。していただき、地域福祉活動の推進にします。

普通会員会費のうち7割は、各地区に設置された「地区社協」への助成金として使用し、身近な地域の福祉活動に役立てられます。

令和5年度は
8,489,000円の
ご協力をいただきました

【内訳】
普通会員会費…… 7,140,000円
賛助会員会費…… 144,000円
特別会員会費…… 1,205,000円

市民の皆さまありがとうございました。



▲地区社協への助成金交付
（本郷ふるさと振興協議会の三世代交流事業）



令和5年度は次のような事業に活用しました



▲ボランティア推進事業
(中高生を対象とした夏のボランティア体験)



▲貸出福祉車両の維持・管理費用
(貸出車両を利用した唐松地区送迎サービス事業)



▲地域課題などについて協議する小地域ケア会議
(土橋地区)



令和 新見市社会福祉協議会

みなさまの会費がにいみ

本会では、毎年7月に市民の皆さまや市内の加入を依頼しています。

社協会員会費は、地域福祉活動を行う上で

になっていただくことは、住民の皆さまが地域今年度も、ひとりでも多くの皆さまに加入ご支援・ご協力をいただきますようお願い

そのほか次のような活動などに使用しました

- 福祉大会の開催経費
- 第4次地域福祉活動計画の策定に係る経費
- 福祉団体への活動助成金の交付
- 福祉委員設置・推進に係る経費

会員種類	会費年額(1口)	内容
普通会员	1,000円	世帯単位で加入
賛助会員	3,000円	活動に賛同される個人など
特別会員	5,000円	市内に活動拠点を持つ企業・団体など

※新たに社協会員に加入していただける企業や団体・個人の皆さまは社協地域福祉推進課 (☎72-7306) にご連絡ください。

事業報告・資金収支決算報告



令和5年度事業報告と収支決算が承認されました。その概要を報告します。

・ 寄付金収入……………	3,963,706 円	・ 補助金収入……………	89,339,557 円
・ 受託金収入……………	64,754,300 円	・ 介護保険事業収入……	150,277,490 円
・ 事業収入……………	8,972,694 円	・ その他の事業活動収入…	2,755,128 円

受託事業 72,962,934 円

新見市などから生活に困窮する人の相談支援事業や、支え合い活動促進などの事業を受託し、きめ細やかな相談、支え合いの地域づくりに取り組みました。

■新見市受託事業

- ◎生活困窮者自立支援事業・家計改善支援事業
「新見市生活相談支援センター」で、生活や家計の管理に不安を抱える人の相談に応じ、自立した暮らしに向けた支援を実施しました。
(延べ相談件数 2,018 件)
- ◎法人後見・権利擁護推進事業
成年後見制度の普及に努めるとともに、法人として成年後見制度による支援が必要な人の後見を受任し、必要な支援を行いました。
(3月末受任件数 24 件)
- ◎生活支援コーディネーター配置事業
- ◎小地域ケア会議の実施 (市内 26 地区)
- ◎地区社協などの地域組織の活動支援・地域運営組織の設立支援 (令和5年度 3地区設立)
- ◎ふれあいサロンの推進 (市内 66 箇所、延べ 559 回開催、5,826 人参加)
- ◎ピオーラカフェ (認知症カフェ) の実施
(6 回開催、108 人参加)
- ◎独居高齢者宅戸別訪問事業 (延べ 5,870 件)
- ◎無料法律相談開催 (12 回開催、相談 71 件)
- ◎福祉車両等貸出 (福祉車両貸出 53 回、ボランティア車両貸出 53 回)
- ◎手話講座の開催 (16 人受講、11 人修了)

■岡山県社会福祉協議会受託事業

- ◎日常生活自立支援事業
判断能力が不十分な人の金銭管理、各種手続きの支援を行いました。(利用者数 27 人)
- ◎生活福祉資金貸付事業
低所得者、障がい者、高齢者の人で、他から援助を受けることができない人への生活に必要な相談支援を行いました。(相談件数 26 件)
新型コロナ特例貸付を行った人への状況確認・相談対応などを行いました。(訪問・電話等 374 件)



ふれあいサロンの様子 (豊永:湯遊サロン)

前期末支払資金残高 (前期末繰越金) 65,280,783 円
当期資金収支差額 (収入-支出) △3,593,298 円

当期末支払資金残高 (次年度繰越金)
61,687,485 円

6月6日の理事会、6月21日の評議員会において、

収入の部:356,550,901円

- ・会費収入…………… 8,489,000円
- ・共同募金配分金収入…………… 9,026,242円
- ・障害福祉サービス等事業収入… 2,887,924円
- ・その他活動による収入…………… 16,084,860円

支出の部:360,144,199円

法人運営事業 96,806,112円

本会の運営経費や地域福祉センターの管理費、広報紙の作成費用、福祉大会の費用に使用しました。

また、地区社協や福祉団体、敬老会への助成を行いました。

介護サービス等事業 181,086,822円

介護認定を受けた人に、在宅での生活に必要な介護サービスを提供しました。

◎居宅介護支援

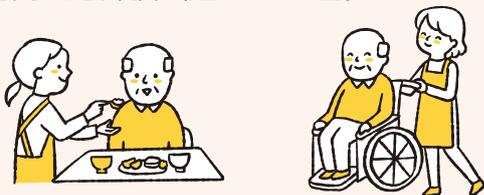
(ケアプラン作成等 延べ2,826件)

◎訪問介護

(ホームヘルプサービス 延べ7,180回)

◎通所介護(デイサービス 延べ10,248回)

◎訪問入浴介護(延べ285回)



障がいのある人への介護サービスや、産後などに支援が必要な人の生活支援サービス、介護者交流事業を実施しました。

◎障がい者ホームヘルプサービス(延べ381回)

◎障がい者デイサービス(延べ49回)

◎障がい者訪問入浴サービス(延べ46回)

◎産後・子育て支援ヘルパー訪問(延べ50回)

◎介護者のつどい・くつろぎの家(延べ3回開催、32人参加)

地域福祉推進事業 9,288,331円

多くの市民・市内企業の皆さまにご協力いただいた社協会員会費や赤い羽根共同募金配分金などを財源として、地域福祉の推進に取り組みました。

◎無理しない地域づくり講座

地域福祉活動の担い手の育成を目的として、無理せず楽しく活動するためのヒントをまとめた講座を実施しました。(9名参加)

◎福祉委員の設置・活動支援

・福祉委員の設置(744地区836人)

・福祉連絡会の開催(延べ61回、849人参加)

◎友愛訪問事業(5,817回訪問)

◎歳末たすけあい訪問(1,330世帯)

◎災害ボランティア養成事業(養成講座45人参加、ボランティアセンター設置訓練26人参加、ボランティア登録78人)



災害ボランティアセンター設置訓練の様子

◎傾聴ボランティア養成事業(ステップアップ研修会13人参加、傾聴ボランティア訪問33回)

◎夏のボランティア体験(中高生28人が参加)

◎小学生ちょボラ運動(15校398人が実施)

◎心配ごと相談の実施(12回)

◎なんでも相談会の開催(2回、相談57件)

令和6年度災害ボランティア養成講座



6月13日に、災害ボランティア養成講座を行い、50人の参加がありました。参加者は、災害ボランティアに関する基本的な知識について学んだほか、石川県能登町の災害ボランティアセンターで活動した本会職員の報告(下記)を受け、災害ボランティアに関する理解を深めました。

本会では、平成30年西日本豪雨や令和元年9月集中豪雨災害を教訓として、災害時の体制整備に加え、市内の団体との協定締結や災害ボランティアの養成と登録を行っています。

今後も本会では、いつ起こるか分からない災害に備えて、市民の皆さまや関係団体と連携した取組を行ってまいります。

参加者の声

- 能登町での活動報告を聞いて、災害からの復興のために団体間の連携や地域の人々の力が大切だと思いました。
- 災害時の支援は作業だけでなく被災者のメンタル面のサポートなど、ソフト面の支援も大切だと感じました。



被災地支援レポート

4月20日から26日までの7日間、神郷支所の前田支所長が能登半島地震で大きな被害を受けた石川県能登町の災害ボランティアセンターに派遣されました。前田支所長の活動内容について紹介します。

■どのような活動をしましたか

災害ボランティアセンターに支援依頼のあった人のお宅を訪問し、手伝ってほしいことの聞き取りや、危険度の見極めなど作業をする上で必要な状況把握を行う「現地調査」を主に担当しました。

■どのような支援依頼がありましたか

新見市の水害のときは家の中に流入した土砂の撤去のニーズが多かったですが、能登町ではタンスなどの家財の片付けなどのニーズが多かったです。

■困ったことはありませんか

被災者のお話を丁寧に聴くことを心がけていましたが、1日あたりの現地調査の目標件数もあり、その両立が難しかったです。

■復旧はどの程度進んでいますか

地震から4か月近くが経っていますが、金沢市から能登町に向かう高速道路は、まだあちこち落石やひび割れがあり、片道しか通行できないところがありました。能登町では、余震も多いことから倒壊したまま手つかずの住宅がたくさんありました。

■ボランティアの活動状況は

県内で活動するボランティアは金沢市に集合し、バスで活動先の市町村に移動していました。能登町には、毎日バス1台で30〜50人のボランティアの参加がありました。

■活動を通じて感じたことは

復旧にはまだまだ長い時間がかかりそうですが、報道などで取り上げられる機会は減ってきています。自分たちは関心をもち続けることが大切だと思います。





あらゆる相談に応じます



本会では「新見市生活相談支援センター」と「新見市成年後見相談センター」を中心に、あらゆる相談に応じ、断らない、そして相談者に寄り添ったきめ細やかな相談支援を行っています。

こんなことに困っていませんか？

- ・うまくお金の管理ができない
- ・家計のやりくりに困っている
- ・公共料金や家賃が払えない
- ・失業中で生活が苦しい
- ・ひきこもりの家族のことが心配
- ・頼れる人が誰もいない
- ・食べるものがない

- ・自分でお金の管理ができない
- ・預貯金の解約ができない
- ・施設入所などの契約ができない
- ・消費者被害によく巻き込まれる
- ・障がいがある子どもの将来が不安
- ・親の老後が心配



新見市社会福祉協議会

各センターでは、相談者の困りごとや不安に思っていることなどを聞き、専門職や関係機関と連携して必要な支援を行います。

生活
困窮

新見市生活相談支援センター

- ◆家計改善支援：家計の立て直しなどの支援
- ◆就労支援：仕事さがしのお手伝い
- ◆緊急支援：食料などの一時支援



権利
擁護

新見市成年後見相談センター

◆成年後見制度に関する相談

- ・制度の概要、申立の方法
- ・申立書作成についての助言など



相談者の声

お金のやりくりが苦手で、公共料金の支払いが遅れがちになっていました。生活相談支援センターに相談して、どのような収入・支出があるかを一緒に確認し、支払いの優先順位を見直すことで公共料金を遅れずに支払うことができ、貯金も少しずつできるようになりました。



ご相談はこちらへ

新見市社会福祉協議会（新見市金谷 640-1 新見市地域福祉センター内）

●新見市生活相談支援センター 電話 0867-88-6588

●新見市成年後見相談センター 電話 0867-72-7306

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～17:00
(土・日・祝祭日を除く)

相談無料
秘密厳守

お気軽に
ご相談ください



ご寄付ありがとうございました。

令和6年4月1日から令和6年5月31日までに、本会に寄せられたご寄付について報告します。(敬称略・順不同)

令和6年
4月~5月

【香典返し】

石蟹 村下 英二 (亡母 品代)
 上市 小出 文子 (亡母 公子)
 上熊谷 藤原 恒子 (亡夫 靖夫)
 唐松 橋詰 正義 (亡母 和子)
 草間 藤井 寿男 (亡母 吉田絹江)
 草間 小林 敏 (亡父 安夫)
 下熊谷 立永由美子 (亡母 亀山婦美与)
 高尾 平田 稔 (亡母 喜久子)
 豊永赤馬 宮脇 知之 (亡父 忠一郎)
 新見 中村 博 (亡母 高下宣子)
 新見 田中 英子 (亡夫 英雄)

新見 井上 洋子 (亡母 野村キクヨ)
 新見 小林 礼子 (亡義母 麻子)
 新見 八石 国臣 (亡義母 橋詰喜久恵)
 新見 藤井 英大 (亡父 勉)
 西方 吉田マルミ (亡姉 妹尾智恵子)
 法曾 宮脇 淳二 (亡父 邦夫)
 大佐田治部 吉岡 嘉男 (亡母 千代子)
 神郷下神代 溝上みどり (亡父 恒一)
 哲多町大野 土屋智可夫 (亡父 甫三)
 哲多町成松 敦田 健一 (亡妻 芳子)
 哲多町本郷 竹田 義信 (亡母 民子)

哲多町宮河内 山本 恵子 (亡夫 克己)

哲西町上神代 二嶋 三夫 (亡母 としゑ)

哲西町八鳥 毛利 貞子 (亡父 晴登)

京都市向日市 造酒 錦代 (亡母 平田政子・本所取扱)

岡山市 林 健二 (亡母 敏子・本所取扱)

【退院内祝い】

哲西町大竹 浅井 清子

【その他】

豊永宇山 常清 泰秀 (車いす一台寄付)

神郷下神代 内田 国彦 (マッサージチェア一台寄付)

フードドライブ事業へ
食料等の寄付

松原淳、全矢崎労働組合
 新見支部、NTT西日本
 岡山支店、岸本操ほか
 11人 156点

各種相談窓口を開設します

心配ごと相談 場所：新見市南庁舎
 7月17日(水) 9:00~12:00
 8月21日(水) 9:00~12:00

法律相談 (要予約) 場所：新見市地域福祉センター
 7月17日(水) 10:00~15:00
 8月21日(水) 10:00~15:00
 ※法律相談予約先 ☎72-7306 地域福祉推進課

なんでも相談会 (予約不要) 場所：新見市地域福祉センター
 8月31日(土) 13:30~16:30
 ※法律や生活に関することなど、弁護士や福祉の専門職などが無料で相談に応じます。

ピオーラカフェ開催のお知らせ 

期 日：7月24日(水) 
 13:30 ~ 15:30

場 所：新見市地域福祉センター

内 容：講話：根茎わさび驚きの健康パワー！
 ~わさびで脳を活性化~
 講師：千屋博労会館 代表 竹本 泉氏
 ◎本わさびの試食もあります！
 ・大学生企画コーナー など

参加費：200円(申し込み不要)  